

小西文孝

来週24日(水)の例会ですが一日講習会の為、休ませて頂きます。皆出席をと思いましたが...栗原副会長さんよろしく。

都倉達殊

竹原俊三様、いらっしゃいませ。来月から宜しくお願い致します。

辻田重恵

初めてのスポンサーとして竹原様に入会してい

ただく事になりました。皆様よろしくお願ひします。

鹿間行雄

大森千里先生、本日は大変お世話になります。よろしくお願ひ致します。

井野隆弘・内海 薫

早退致します。

三輪佳公

誕生お祝ありがとうございます。

例会記録 2004. 11. 17 (水) 通算1279回

ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」

本日のゲスト 竹原俊三様 高菱エンジニアリング(株) 取締役総務部長

来訪ロータリー アン報告 守光 隆様(高砂R.C.) 清水 徳行様(高砂R.C.)

出席報告 10月27日 会員数 51名 欠席者1名 出席率 98.04% <修正による>
11月17日 会員数 51名 欠席者16名 出席率 68.63%

Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川中央ロータリークラブ	3クラブ合同例会のため	11/25(木) PM6:00 ~ 於: 加古川プラザホテル
姫路中央ロータリークラブ	献血例会のため	11/25(木)
明石西ロータリークラブ	休会	11/25(木)
〃	休会	12/30(木)
加古川平成ロータリークラブ	3クラブ合同例会の為	11/24(水)⇒11/25(木) PM6:00 ~ 於: 加古川プラザホテル
姫路ロータリークラブ	忘年家族例会	12/7(火) PM6:30 ~ 於: 姫路商工会議所2階大ホール

会長 小西文孝 幹事 都倉達殊 クラブ会報委員長 庄司 武
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)
事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話(0794)43-0500(代)



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



ロータリー財団月間に因んで

大森千里 地区ロータリー財団委員

ロータリー財団の組織と使命

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチ・C・クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1928年に国際大会でロータリー財団と名づけられました。

ロータリー財団の使命は、2000年2月のロータリー財団管理委員会において新しく改訂されました。すなわち「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と決定され、国際ロータリー理事会においても承認されました。

ロータリー財団は1917年に基金として創設以来すでに87年の歴史を刻んできています。この間、全世界のロータリアンは惜しみなく時間と財政的援助を捧げてくれました。

奉仕活動と資金調達は車の両輪

国際ロータリーが地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化し、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。この両者のバランスが十分よくとれてこそ、はじめて貧困や飢餓、疾病や障害に悩み、苦しんでいる全世界の人たちのために奉仕し、世界理解と平和に貢献するという私たちの目的が達成できるのです。

ロータリー財団のプログラム

ロータリー財団のプログラムは次の3種類があります。それは教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラス・プログラムです。



1. 教育的プログラムは、国際親善奨学金プログラム、国際問題研究のためのロータリーセンター・プログラム、大学教員のためのロータリー補助金プログラム、研究グループ交換プログラム。

2. 人道的補助金は、地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラント、3-H、3-H計画準備助成金です。

3. ポリオ・プラス・プログラム

地区補助金 (District Simplified Grant)

2003~04年度7月1日から人道的補助金プログラムに新しい補助金制度がスタートしました。2000年2月のロータリー財団管理委員会において、ロータリー財団の使命が改訂されました。そして2000年4月の管理委員会で、3年間の試験的プログラムとしてCAPが誕生したのです。国内または地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団が補助金をだすという画期的なものです。この試験的プログラムCAPは大変好評であったので2003年7月1日から地区補助金プログラムとしてスタートしました。この地区補助金に使うことのできる金額は3年前の年次寄付のDDF(60%)の20%が限度です。2003~04ロータリー

年度に実施予定の地区補助金に対し、わが第2680地区は米貨40,000ドルを要請し、地区補助金として社会奉仕活動に使用できるようになりました。そこで、昨年度当初に地区補助金の申請を募ったところ、地区内25クラブから応募があり、補助金額は平均1,637ドル(1ドル116円レートで日本円189,892円)になりました。昨年度はじめて創設された地区補助金プログラムに25クラブからの応募がありこのプロジェクトに対しての関心の高さがうかがわれました。本年度は地区補助金に43,000ドルを要請し、地区内30クラブのプログラムに配分される予定です。

ポリオ・プラス

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万人の児童にポリオの予防接種をするという5カ年間の誓約でした。これが3-Hプログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。このプログラムは大変効果的であったため、1980年代、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始めました。これは世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムであり、3-Hプログラムから独立させたのがポリオ・プラス・プログラムです。

1995年規定審議会に於いてポリオ・プラスの目標は西暦2000年までにポリオを一掃し、その後2005年までにポリオの撲滅を証明することが採択されました。1990年に米州地域で、2000年には西太平洋地域で、2002年にヨーロッパ地域で、それぞれポリオ根絶宣言が出されています。しかし、まだ一部の地域でポリオの発生があり、いまだに撲滅には至っていません。これらの地域は極貧国の僻地であり、ワクチン投与には未だ多額の資金が不足しておりました。そこで、2002年7月より8000万ドルの募金キャンペーンがスタートしました。2003年のブリスベン国際大会で、目標を上回る8850万ドルの寄付が集まった旨発表されました。但し、この金額には誓約が含まれていますので、現金とDDFのみで目標を上回ったわけではありません。日本の場合は誓約で3年間に1600万ドル集めることを目標としています。今年度が3年目の最終年度です。

ポリオの発生国数はロータリーがポリ

オ・プラス・プログラムを開始して以来、1985年の125カ国以上から2002年末には7カ国へと減少し、さらにポリオ症例発生数は1985年から99%以上も減少しました。しかしあと残り1%ですが2002年においてもインド、ナイジェリア、パキスタンなど地理的に限定はされていますが、なおポリオが発生しております。この3カ国の76の州/県のうち九つの州/県において2002年の世界のポリオ症例の80%が発生しています。

ポリオ根絶の世界的証明には質の高い監視活動のもとで、野生ポリオ・ウイルスによる症例が少なくとも3年間ゼロになる必要がありますので、ロータリー創立100周年の2005年度にポリオ撲滅を宣言することは無理かもしれません。

財団の友

ポール・ハリス・フェローとして認証されるために一括1000ドルを寄付するのではなく、無理のない範囲で、1回目に100ドルを寄付し、1000ドルに達するまで随時寄付するというポール・ハリス準フェロー制度がスタートしたのは1957年のことです。このPaul Harris Sustaining Memberの名称が1999年に、Rotary Foundation Sustaining Member(ロータリー財団準フェロー)と変わりました。そのとき従来と異なり、1000ドルに達した後も寄付し続けると定義されましたので、ロータリー財団準フェローではなく、財団の友と改称しました。

「財団の友」会員は、年次プログラム基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。

**Every Rotarian, Every Year
毎年あなたも100ドルを**

2001年と2004年規定審議会の決定で2005年の100周年までに毎年1人当たり100ドルの寄付を達成することが決議されています。日本の2002~03年度1人当たりの寄付は84ドル58セントですから、これを世界で達成できれば大変喜ばしいことですが、真意は、多額の寄付をする人もいて、少ない人もいて、平均100ドルではなく、ひとりひとりに何らかの財団寄付をお願いすることです。この100ドル達成の手段が「財団の友」です。ポール・ハリス準フェローですと、1000ドルになると目標達成で終わりですが、「財団の友」の会員には終わりはありません。毎年100ドルずつ寄付していただくものです。

President 会長の時間

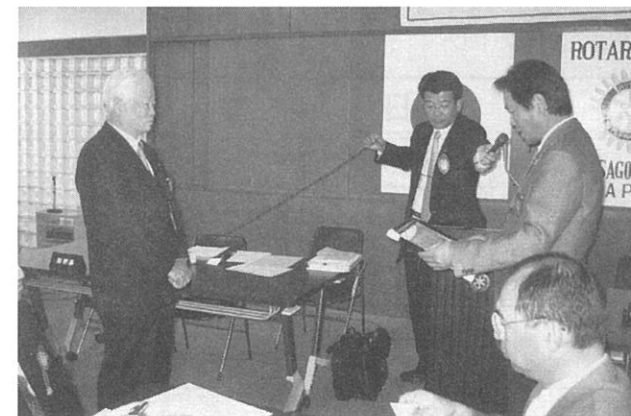
季節がやっと落ち着いてきた今日この頃です。

気候の変わり目、皆様どうぞお体ご自愛ください。今月はロータリー財団月間となっております。

本日は、大森千里会員さんに月間に因んだ卓話をさせていただきます。よろしく願い致します。

et cetera 委員会報告

感謝状贈呈



Secretary 幹事報告

第16回 通算1209回

1. ガバナー事務所より
シカゴ国際大会参加旅行のご案内
2005年国際ロータリー年次大会
開催日：平成17年6月18・19日
締切日：平成17年1月31日(月)
2. 国際ロータリーより
ロータリアン誌が届いています。
3. 相生ロータリークラブより
週報が届いています。
4. 国際ソロプチミスト加古川より
第22回チャリティーバザーの案内は今週も回覧させていただきます。
日時：12月7日(火)10:00~15:00
会場：加古川プラザホテル
7. 例会変更
明石西ロータリークラブ
12月30日(木)⇒休会(定款第5条第1節により)



プログラム予定

11月17日(水)	11月24日(水)	12月1日(水)	12月8日(水)
地区補助金小委員会 大森千里 委員 (ロータリー財団委員会担当)	卓話 内橋英昭 会員	卓話 植杉成一郎 会員	年次総会 上期事業報告